

3. 消防財政

1. 市町村の消防費

(1) 消防費の決算状況

消防費の決算状況は、下表のとおりである。

市町村普通会計及び消防費の決算状況

(単位：億円、%)

| 項目 | | 20年度 | 19年度 | 増減額 | 増減率 |
|-------------|---------------|--------|--------|------|------|
| 普通会計歳出総額(a) | 一部事務組合 を含む | 17,759 | 17,974 | △215 | △1.2 |
| 消防費歳出総額(b) | | 1,055 | 1,044 | 11 | 1.1 |
| (b)/(a)% | | 5.9 | 5.9 | | |
| 普通会計歳出総額(c) | 一部事務組合 を除く | 17,480 | 17,696 | △216 | △1.2 |
| 消防費歳出総額(d) | | 882 | 876 | 6 | 0.7 |
| (d)/(c)% | | 5.0 | 5.0 | | |

また、消防費の市町村普通会計歳出総額に占める比率を市町村別にみると、鋸南町(10.2%)が最も高く、次いで長柄町(10.0%)、多古町・大多喜町(9.2%)の順となっている。

(2) 1世帯及び住民1人あたりに支出した消防費

市町村における平成20年度消防費の1世帯当たり及び住民1人当たりの県平均額は下表のとおりである。

市町村別に見ると、住民1人当たりの消防費は、鋸南町(40,457円)が最も高く、次いで大多喜町(35,707円)、長柄町(35,687円)の順となっている。

また、1世帯当たりの消防費は、長柄町(113,744円)が最も高く、次いで大多喜町(110,116円)、鋸南町(106,874円)の順となっている。

1世帯当たり、住民1人あたりに支出した消防費の推移

(単位：円)

| 項目 / 年度 | | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
|---------|----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1世帯あたり | 組合 含む 一部 事務 | 45,497 | 44,334 | 44,648 | 44,340 | 43,428 |
| 住民1人あたり | | 17,403 | 17,134 | 17,248 | 17,337 | 17,728 |
| 1世帯あたり | 組合 除く 一部 事務 | 38,106 | 36,902 | 37,463 | 37,070 | 36,307 |
| 住民1人あたり | | 14,576 | 14,262 | 14,472 | 14,495 | 14,403 |

(3) 消防費の性質別内訳

消防費の性質別内訳は、次のグラフのとおりであるが、消防費のうち人件費の占める割合が高く、全体に占める割合は65%である。

平成20年度市町村別消防費性質別歳出決算額の割合（一部事務組合を含む）

単位：百万円

